

高崎高等学校アメリカ研修 報告書 (3日目)

研修3日目を迎えました。今日も雨がちらつく不安定な天気でしたが、暑すぎず比較的過ごしやすい1日でした。本日から英語クラスが始まります。前半が Grammar クラス、後半が Communication クラスと分かれています。昨日テストの結果他国留学生と一緒にインターナショナルクラスもあれば、高生を含む、日本人留学生のみのクラスもあります。日本人のみのクラスについては、事前オリエンテーションの時から「あり得る」と聞いていたものの、生徒にとっては衝撃でした。早速、「日本語禁止令を布いた」という声があり、環境のせいにはせず、取り組む姿勢が見えたことにまず安堵しました。

クラスが終わった後に感想を聞いて見ると、昨日よりも先生の言っていることが理解できるものの、他国留学生の積極性に圧倒された、何も言えなかった、考えているうちに話題が次に進んでしまう、といった意見がほとんどだったように思います。しかしこれはある程度予想していたことでもあり、そんなハードな環境を生徒達は心なしか楽しんでるようにも見えます。しかし、時間は限られています。何としても授業に爪痕を残すべく、アクションを続けて欲しいと思います。

午後は現地で活躍する起業家、松川原さんにゲストとしてお越し頂きました。すっかり高崎高校の研修ではおなじみになった松川原さんですが、お忙しい中今回も時間を作ってお越し下さり、激動のグローバル社会を生き抜くために、今時代が人材に対して求めている力とは何か、今後世の中はどのように変わり、それでも普遍的に力を発揮できる人物とはどんな人物かについて熱く講演を頂きました。知識を詰め込み、情報を処理するだけでは AI に取って代わられる、そうではなくて、得た情報をあなたらしく「編集」し、新しい価値を与えて世に発信することが大切であること。好きなことに拘り、追求していくことなど、生徒がこれから未来に向けて学ぶ上でたくさんのヒントをいただきました。

今日は忙しい一日で、松川原さんのレクチャーの後は大急ぎでハーバード大学のキャンパスツアーに出かけました。松川原さんが講演に続き、観光ツアーでは聞けない観点からハーバード大学のキャンパスツアーを実施下さいました。日本のトップ大学東大とハーバードの違い、アメリカの大学の圧倒的な資金力に基づく研究分野の強さ、高額な授業料の代わりに、ディスカッションベースの非常にハイレベルな授業が行われていることなど、生徒のこれまでの大学のイメージを大きく覆すようなお話をたくさん聞かせて頂きました。そして後半はスペシャルイベント、現在ハーバード大学公衆衛生大学院で博士研究員をされている、木野先生にお越し頂き高生生徒座談会を実施頂きました。木野先生は東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科を首席で卒業され、その後順天堂大学の修士課程にて健康推進学について学ばれました。その後教授の勧めでイギリスのサザンプトン大学、ロンドン大学に進学され博士号を取得、現在のハーバード大学公衆衛生大学院で研究を続けていらっしゃる、強烈な経歴をお持ちの方です。しかし目の前に現れた木野先生は、笑顔が素敵な若い小柄な女性でした。世界の第一線で活躍される木野先生の言葉は1つ1つが力強く、自分が本当に好きなことをやる大切さ、そして自分の意見を持ち、しっかり伝えなければ世界で戦うことは絶対にできないことなどを教えていただきました。

研修が3日目というタイミングで、これからの生徒の活動の指針になる大切なことをたくさん得た一日となりました。まだまだ本気を出し切れていない生徒が多くいます。これからのアクションに期待して、研修3日目の報告と致します。



現地起業家 松川原さんのレクチャー



松川原さんによるハーバード大学キャンパスツアー ①



松川原さんによるハーバード大学キャンパスツアー ②



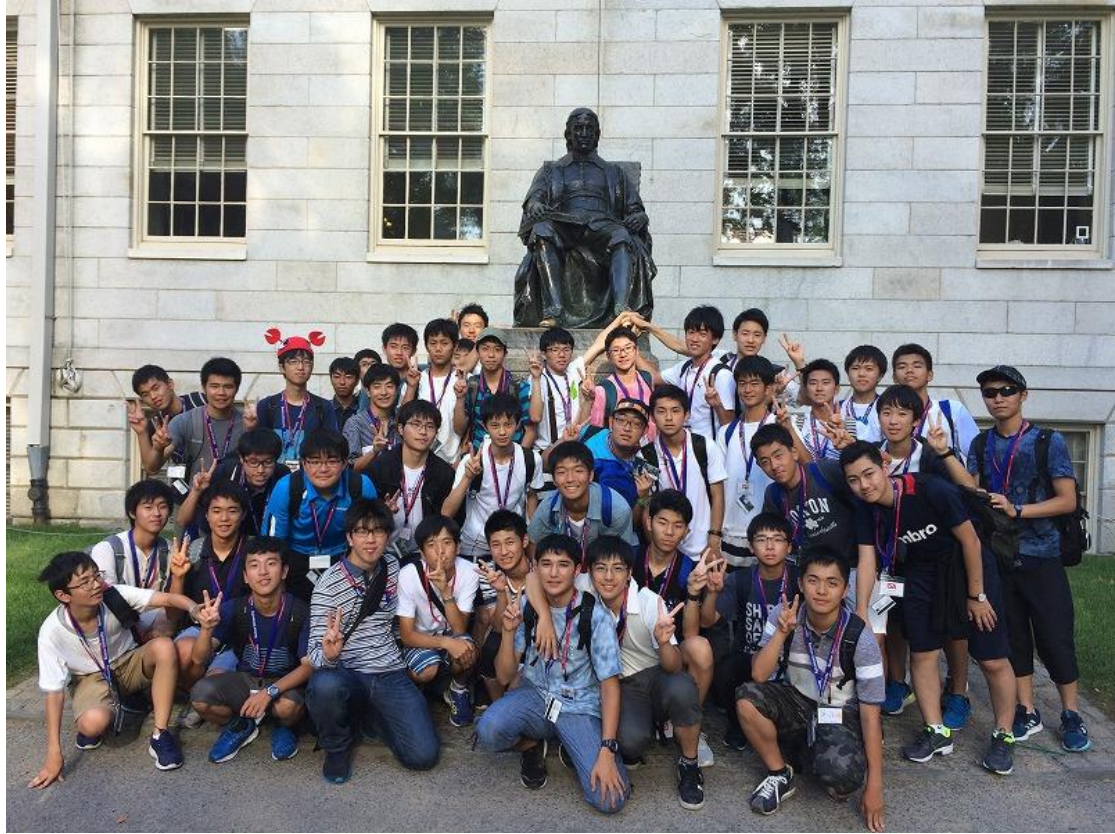
ハーバード大学公衆衛生大学院 木野先生との座談会



木野先生、松川原さんへのお礼の言葉



木野先生、松川原さんとの集合写真



ジョンハーバード像前で